



徳成寺 寺ともかわら版

第169号2021年1月



2021年明けましておめでとうございます。

住職の大山です。と言っても、なにか調子が出ません。

初詣は分散参拝しろだとか。お家でステイホームしろなど。

普段、何気なくしていたことが次々に制限されるようになりました。

失ってみると、いかに幸せだったか初めて気が付く私たちのお粗末さです。

この私たちのお粗末さの意味するところは、仏様に手を合わせてご利益を期待する

より、こうして仏様に手をあわせられることが有難いことだったと初心に立ち帰る

ことではないでしょうか。コロナ禍も意外に初心に立ち帰るいいチャンスかも

知れません。初々しい一年になるといいですね。

【ご報告】昨年末の報恩講での「歳末たすけあい」に、15,330円集まりました。
NHK高松を通じて、国内たすけあいと海外たすけあいに半分ずつ募金致しました。
皆様のご協力、誠にありがとうございました。

—発行責任者—

住職 大山健児
坊守 大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています、長男です。

新年おめでとうございます。昨年末はお参りが終わった後「来年こそは良い年になりますように」と年末の挨拶に「こそ」がつき、苦しさを克服したいという強い願いが伝わってきました。とはいえ、日付をまたぎ新年を迎えたからといってこの状況が劇的に変わる事はありません。ワクチンが普及してもコロナ禍で露わになった分断や差別といった社会の傷を癒すには時間がかかるでしょう。だからこそ、周囲の環境に振り回されまいとする主体的な意志を持つ事が、2021年を良い年にするための重要なポイントだと感じます。現在私は新生活に向けて準備を進めています。コロナ禍だからといって先延ばしができないので、引っ越し作業がなるべく早く終わるように動き出しました。皆様もコロナ禍を克服したら、やりたいことを思い切ってできるように、ステイホームが声高に叫ばれる今のうちにご準備されることをお勧めします。写真は結婚祝いに頂いた夫婦鶴の絵と瓢箪です。素敵な贈り物ありがとうございました。

